

# 大門坂

12月号 月田小学校だより

平成29年11月20日(月) 校長 小林幸雄

## あるマラソン選手の原点

バルセロナオリンピック・銀メダル、アトランタオリンピック・銅メダルと言えば、岡山市出身の有森裕子選手です。

ところで、少女時代、彼女はどんな子だったのでしょうか。先を読み進む前に少しか想像してみてください。何ごとも活発な少女だった…。運動神経抜群の子だった…。などと想像出来ます。

先日、有森裕子さんに直接お話を聞く機会がありました。少女時代、意外にも得意なことは何一つなく、何をやっても駄目な子、ずっとそう思っていたというのです。

ただ、中学に進んで1つだけ自慢の出来ることが出来た。それは、秋の運動会。800m走で一位になったこと。800m走に出た理由は一つ。長くて苦しい。皆が出たがらない種目。だからチャンスかも?…という思いで出てみると思いがけなく1位になっちゃった。2年生、3年生の時も800m走で優勝します。これが、唯一、彼女の自慢出来ることだったのです。

やがて彼女は、高校に進んだら陸上部に入ろうと心に決め、陸上の強い就実高校に進学します。

やる気満々で、陸上部の監督に会いにでかけ、



<学習発表会 全校合唱「ふるさと」>

入部をお願いします。ところが、「うちは、中学校から優秀な選手がたくさんおる。おめえのような素人はいらん。じゃまになる。」と監督にはっきりと断られたというのです。

この時、彼女は、こう思うのです。

「監督さんは、今日は機嫌が悪かったんだ。私の着ている服も地味だった。次は明るい服を着て行こう。」そう思って、今度は真っ白なジャージを着て、再びお願いに行くのです。

しかし、その次も、けんもほろろに断られてしまいます。それでも彼女はめげません。

何としても監督に入部を認めてもらおうといじらしい努力をします。監督がいる場では、わざと目立つような行動をしてみたり、陸上部の練習場に出向き、選手を集めて監督が指示を出そうとした瞬間、その後ろの方で監督の目に入るように大きく手を振って見せたりしたのです。

さすがに、頭にきた監督さん。ついに20分間だけ時間を取ってくれました。そのうち18分間こんこんと説教が続きます。

「どうせ素人が入部しても、厳しい練習にはついていけない。中学から本格的に陸上に取り組んできた有望な選手がたくさんおる。どうせ入部しても後悔するだけだ！」このように18分間の説教が続きます。

でも、彼女は、言うのです。

「先生、やってみなけりゃ分からないでしょ。走るところを見てないでしょ。一度見てください。」

さすがに監督も折れて仮入部を認めたくれたというのです。途中で諦めずに、入部を認めてもらったこと。これが、マラソン選手・有森裕子の原点だったのです。

## たかが逆上がりされど逆上がり

話しは変わりますが、逆上がりキャンペーンを17日(金)まで行いました。キャンペーンの間

休み時間になると、必ず子どもたちに付き添い、励まし続けていた先生がいます。お茶を飲む暇もない忙しさです。その姿を見る度に、頭の下がる思いでおりました。

子どもたちに付き合っていると、子どもの可能性は凄いことを改めて実感します。



<学習発表会 6年「カノッサの屈辱 2017」>

中には、前途多難に感じる子もいます。回転方向とは真逆に反りかえってしまう子、<sup>からだ</sup>身体を後ろに倒す恐怖でガチガチの子。腕力も心<sup>もと</sup>許ない子。

でも、毎日練習を重ねているとほんの少しずつ上達して行く様子を目の当たりにします。

キャンペーンも終盤に差し掛かった昼休みのこと、中庭運動場で一つのドラマが生まれました。

それまで黙々と諦めず練習を続けてきた2年タクトくん、1年アヤトくんがついに出来るようになったのです。そばで声をかけていた担任とハグをします。周りにいた子どもたちも思わず何度もバンザ〜イ！と声を出し喜びを共有しました。

中には、休みの日、学校にきて我が子の逆上がりの練習に付き合ってくださった方もいます。

何と素敵な親子だろうと私は思います。

また、逆上がりの補助具・改良型「くるりんベルト」を自作した先生もいました。安田先生です。こんな工夫をする教師を私は見たことがありません。子どもたちは、それを見て口々に「秘密兵器！」と言っています。

<逆上がり達成率の推移>

1年	0%→57%	2年	33%→66.7%
3年	71%→86%	4年	50%→60%
5年	75%→88%	6年	53.8%→53.8%
・学校全体の達成率…43.1%→65.5%			

私どもは、ただ逆上がりが出来ることだけを目

指しているわけではありません。たかが逆上がりされど逆上がりです。決して途中で諦めないで頑張り続けることの大切さ。このことを逆上がりキャンペーンを通じて改めて感じている次第です。

有森裕子がそうであったように…。

また、夢に向かって努力し少々のことではへこたれない月田っ子になるために…。

## 学校評議員さんとの懇談会

11月16日(木)、今年になって2回目の学校評議員会が開かれました。5校時目の授業参観の後、職員との懇談会も行いました。

今年度の学校評議員は、以下の6名の方をお願いしています。(敬称略)

- |       |        |       |
|-------|--------|-------|
| ・宮島啓人 | ・宮島郁夫  | ・角田清子 |
| ・頭應 登 | ・中田ゆかり | ・影山知幸 |

懇談会では、松浦教務主任から、学力向上の取り組みについて、岩佐研究主任から校内研究について、阿部生徒指導主事から、いじめ・不登校・児童の様子について説明をしました。

その後、学校評議員さんから貴重なご意見を頂きました。学校評議員さんには、年度末に学校評価もお願いしています。

## 12月の行事予定

- 1日(金) 富原小研究発表会 短縮③
- 5日(火) 児童朝礼/わくわくタイム/人権の花感謝状贈呈式
- 7日(木) 6年勝山中学校区4校交流会・勝中入学説明会
- 8日(金) 読み聞かせ
- 11日(月) あいさつ運動/学期末総復習週間スタート
- 14日(木) 短縮⑤
- 15日(金) 短縮⑤/地区児童会
- 18日(月) おかざり作り(月田老人クラブ指導)
- 19日(火) 短縮⑤/児童朝礼/わくわくタイム
- 21日(水) 短縮⑤
- 22日(木) 終業式/短④/給食最終



<学習発表会 2年生「ふくろうのそめものや」>